

子どもの健全育成と、SDGsの目標のうち『貧困をなくそう』『すべての人に健康と福祉を』『質の高い教育をみんなに』の実現に資する活動への支援

「子どもたちの学び場・地域のカフェで寺子屋」事業

地域に根づいた学びの場を日本全国につくることを目標に掲げて寺子屋の運営に取り組む

地域にあるカフェを借りて、小学生から高校生が大学生と一緒に自学自習を行う「寺子屋」を全国展開しようと取り組んでいる。その先にあるのは、「みんなのことに、みんなが協力する社会の実現」。社会課題の解決に向けて、学びを支援する活動は、SDGsの第4項に掲げられた「質の高い教育をみんなに」の達成にも寄与するものである。



学生が運営の中心となり、地域のカフェを借りて開催される寺子屋



社会課題の解決に欠かせない教育を支援するための自学自習の寺子屋

NPO法人「Cafe de 寺子屋」は、「教育を通して、社会課題全体の解決に貢献したい」という思いを背景に、2020年4月に静岡県藤枝市で設立した学生主体の団体である。飢餓・貧困・差別などの社会課題の根幹には「人の心の貧しさ」が存在していると捉えており、その心の貧しさに対しては、教育によって、より豊かになるための機会を提供できると考えている。そうした考え方を背景に、「みんなのことに、みんなが協力する社会の実現」をミッションとして活動を続けているが、その根底には、一人ひとりが様々な社会課題を「自分ごと」として捉え、みんなのことを思いやることができれば、そうした社会課題は段々と小さくなっていくという思いがある。

そうした思いの実現に向け、具体的に取り組んでいる

のが、地域のカフェを借りて寺子屋を開催することである。その寺子屋では小学生から高校生までの児童や生徒が参加して、基本的には子どもたちは自身が持ってきた教材や本について学習することになっていて、大学生と一緒に自学自習に取り組んでいる。寺子屋の運営は原則として学生スタッフが中心となって行い、社会人スタッフはそのサポートをしている。

寺子屋の会場としてカフェを選んでいるのは、「心地よく、自学自習ができる場所」だからである。テーブルと椅子、お手洗いや空調などが基本的にそろっていて、対話をするのと黙々と集中することが両立できる空間で、子どもが自学自習に取り組みやすい環境だという理由からカフェが選ばれた。また、大学生が運営の中心となっているのは、参加する子どもたちにとって、「年代は違っているが、かけ離れていない」存在だからである。

7都県12カ所に展開する寺子屋で学生中心の運営を続ける

地域のカフェを借りて開催される寺子屋だが、現在、同法人が運営する寺子屋は7都県に12カ所ある。2022年度は1週間あたり、平均1~2回開催され、開催回数は558回、参加した子どもたちは全国で延べ2,291名となった。経験のあるスタッフが実際に全国の寺子屋に赴き、現場の視察・指導を行っているが、その際、寺子屋の場所を提供いただいているカフェ店主への挨拶も欠かさずに行い、良好な関係構築を図っている。昨年度は、年間を通し、34回の視察・指導を実施した。また、全国の学生スタッフを対象に、学び支援や組織運営の方法についての研修を行い、昨年は9月12~13日に30名が参加した。

たとえば寺子屋の一つ、藤枝市で活動する「寺子屋あすは」では、毎週金曜の16時30分~18時、市内若王子

の蓮台寺池公園近くにある複合商業施設 ASUHAのカフェを借り、これまで計35回、開催した。参加者の延べ人数は180名ほどで、ここでは高校生スタッフが中心となって運営している。

2022年12月に実施したアンケートでは、保護者から「子どもたちにとって大切な場所になっているので、これからも活動を継続してほしいです」、「生涯、勉強だと思っていますが、これなら受け身ではなく、自分から学びたいという気持ちを維持できそうです」、「子どもが、わからない問題をわかりやすく教えてもらったと喜んで話しています。寺子屋で知った本を読みたいと言っています」といった声が寄せられた。また、子どもたちからは「優しく教えてもらって楽しい」、「前よりも勉強する習慣ができました」、「集中できるし、わからないところを丁寧に教えてもらえる」といった声が寄せられた。

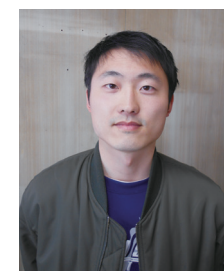


小学生から高校生までの児童や生徒が参加して、学生と一緒に自学自習に取り組む



助成団体: 特定非営利活動法人 Cafe de 寺子屋

<https://www.cafe-de-terakoya.or.jp/>



貴重な助成金により、組織の基盤整備と次年度への足がかりができました

学生主体の運営で、まだ設立間もない団体にもかかわらず、ご支援してくださったことにとっても感謝しております。完全非営利で活動しているため、助成金はとても重要です。今回の事業で、全国に寺子屋を展開するという目標の達成はまだ叶いませんでしたが、組織の基盤を大きく整えることができ、次年度につなげることができました。

特定非営利活動法人 Cafe de 寺子屋
事務局長 関口 貴生さん